

関西大学大学院  
博士課程前期課程  
博士課程後期課程

# 入学試験問題集

---

社会安全研究科

---

関西大学大学院

# M

## 試 験 問 題

外国人留学生入試	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
----------	----------	---------	---------

(10月入試)

科 目	専門科目①
-----	-------

次の四つの問いから二つを選んで回答しなさい(選択した問題記号を明記してから解答すること)。

- (A) 社会安全学が対象とする問題群にはどのようなものがあるか説明しなさい。
- (B) AI(Artificial Intelligence)が人間社会の安全・安心にもたらす影響について説明しなさい。
- (C) 地盤災害や土砂災害を防止するためのハード対策とソフト対策について説明しなさい。
- (D) 気候変動のリスクについて説明しなさい。

(以 上)

# M

## 試 験 問 題

外国人留学生入試	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
----------	----------	---------	---------

(10月入試)

科 目	専門科目②
-----	-------

演習テーマ： 政策法学

自身が関心をもっている災害・事故について、具体的にどのような問題があるのか提示しなさい(1個でもよい)。そして、①その問題に対してどのような法制度が存在していて、②その法制度がどのような課題を有しているのかについて述べなさい。

(以 上)

# M

## 試 験 問 題

社会人入試	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
-------	----------	---------	---------

(10月入試)

科 目	専門科目①
-----	-------

次の四つの問いから二つを選んで回答しなさい(選択した問題記号を明記してから解答すること)。

- (A) 社会安全学が対象とする問題群にはどのようなものがあるか説明しなさい。
- (B) AI(Artificial Intelligence)が人間社会の安全・安心にもたらす影響について説明しなさい。
- (C) 地盤災害や土砂災害を防止するためのハード対策とソフト対策について説明しなさい。
- (D) 気候変動のリスクについて説明しなさい。

(以 上)

# D

## 試 験 問 題

一般入試	博士課程後期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
------	----------	---------	---------

(10月入試)

科 目	専門科目
-----	------

演習テーマ：危機対応に関する行政学・公共政策学・政治学研究

人口減少が進行する一方で高齢化も進行しているため、救急需要の増加は今後も20年以上は続くと言われている。そのような状況下、全国的に消防は困難な状況に直面している。救急需要の増加への救急体制の強化策、消防の負担軽減策として、具体的にどのような取り組みが各地で行われているか。またそれらの取り組みの現状及び、メリット、デメリットについて論じなさい。

(以 上)

# D

## 試 験 問 題

一般入試	博士課程後期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
------	----------	---------	---------

(10月入試)

科 目	専門科目
-----	------

演習テーマ： 労働安全衛生研究

次の問題 (A)、(B)、(C) のいずれか一つを選んで解答しなさい (選択した問題記号を明記してから解答すること)。

(A)

厚生労働省(2024)が公表している「国民健康・栄養調査」に基づく健康日本21(第二次)の最終評価の結果、令和元年の20~60歳代日本人男性の肥満者の割合(年齢調整値)は、平成22年の31.2%から34.7%に増加している。日本人男性労働者における肥満を予防するために、職場においてどのような対策を講じることができるか考えを述べよ。

(B)

中国国家衛生健康委員会の統計(2021)によると、中国の成人の糖尿病の有病率は12.8%、患者数は約1億3000万人であると報告されている。なぜ中国の成人において糖尿病の有病率が高く、問題となるのかを考察し、現在の中国における健康問題についてどのような対策を講じることが必要であるのか考えを述べよ。

(C)

長時間労働は、疲労感や仕事のストレスを増加するだけでなく、運動量の低下、睡眠時間の減少につながり、様々な健康問題を引き起こす可能性がある。長時間労働に伴う健康への影響について考察し、長時間労働を抑制するための職場における対策について考えを述べよ。

(以 上)

# M

## 試 験 問 題

M 共通	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
------	----------	---------	---------

(2月入試)

科 目	専門科目①
-----	-------

次の四つの問いから二つを選んで回答しなさい(選択した問題記号を明記してから解答すること)。

- (A) 日本の自然災害の歴史について説明しなさい。
- (B) 気候変動が私たちの生活に与える影響について説明しなさい。
- (C) 標準化と規格について説明しなさい。
- (D) ライフスタイルの変化と感染症のリスクについて説明しなさい。

# M

## 試 験 問 題

一般入試

博士課程前期課程

社会安全研究科

防災・減災専攻

(2月入試)

科 目

専門科目②

演習テーマ： 応用データサイエンス

ある観察研究において、処置  $T \in \{0,1\}$  ( $1 =$  処置群,  $0 =$  対照群)の因果効果を推定するため、共変量  $X$  を用いた調整を行う。処置前の共変量  $X$ の群別統計量は以下で与えられる。

群	標本数	算術平均	不偏分散
$T = 1$	80	62	30
$T = 0$	200	54	68

(1). 処置前の Standardized Mean Difference (SMD)を定義式に基づいて求めなさい。

次に、傾向スコアマッチングを行った結果、以下の統計量が得られた。

群	標本数	算術平均	不偏分散
$T = 1$	70	58	16
$T = 0$	70	57.2	16

- (2). マッチング後の SMD を求め、(1) の結果と比較して共変量のバランスの改善度合いを評価しなさい。
- (3). SMD が大幅に改善したにもかかわらず、因果推定の結果に依然としてバイアスが残る可能性について、「未観測の変数」と「分布の形状」の2つの観点から説明しなさい。
- (4). SMD は標本サイズに依存しない指標であるといわれている。この性質が  $t$  検定の  $p$  値を用いてバランス確認を行う場合と比較して、どのような利点を持つか述べなさい。

# M

## 試 験 問 題

外国人留学生入試	博士課程前期課程	社会安全研究科	防災・減災専攻
----------	----------	---------	---------

(2月入試)

科 目	専門科目②
-----	-------

演習テーマ： \_\_\_\_\_ 災害情報論 \_\_\_\_\_

災害情報が持つ機能・役割には、おもに3つ、すなわち、(1) 緊急時の対応を効率的に促進すること、(2) 被災後の暮らしをきめ細かく支援すること、(3) 予防的な行動を普及啓発することがあげられる。それぞれの局面において、日本社会では——もちろん、この観点から広くグローバル社会を想定して考えてもよい——、どのような課題があり、どのような取り組みが求められているか述べなさい。